

# 令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第19回北信越ワークショップin富山	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

## 1. 事業目的

本事業は、地域風土として共通要素の多い北信越地域(新潟・富山・石川・福井・長野5県)において、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」の実現を目指して、行政、研究者、工事施工者などが一堂に会し議論する取り組みである。近年の洪水氾濫を受け全国的に河道掘削、樹木伐採が行われ河道内氾濫原の河床が変化してきている。今回は、目指すべき河道内氾濫原の保全と再生を学ぶべく富山県内河川の特徴である急流河川での河道内氾濫をテーマに開催する。

## 2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会、応用生態工学会富山地域研究会  
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会、(一財)富山水・文化の財団、北陸技術士懇談会  
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、富山県、富山県立大学、(公社)日本技術士会北陸本部、(公社)地盤工学会北陸支部、(公財)とやま環境財団、(一社)富山県測量設計業協会、(一社)富山県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県内水面漁業協同組合連合会、富山県ビオトープ研究会、北日本新聞社、富山新聞社

## 3. 事業実施概要

テーマ: 「急流河川での河道内氾濫原の保全と再生を考える」

### ■フィールドツアー

日時: 令和3年11月12日(金) 13:00~17:15  
 コース: 神通川~熊野川~常願寺川  
 参加者: 45名

### ■ワークショップ(オンライン併催)

日時: 令和3年11月13日(土) 10:00~17:00  
 場所: 富山県立大学  
 プログラム:

- ・基調講演「河道内氾濫原の保全・再生に必要な河川技術は揃ったか？」  
 講師: 原田 守啓(岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授)
- ・一般講演7題  
 講師: 富山県立大学、国土交通省富山河川国道事務所、富山県土木部、山梨大学、富山県自然博物館、富山市科学博物館、富山県水産研究所
- ・総合討論  
 コーディネーター: 玉井 信行(東京大学 名誉教授)  
 参加者: 74名(うちオンライン参加22名)

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域という広域的視点において地域課題に関する情報共有を図り、北信越地域及び流域全体の連携強化が期待される。大学等の研究者をはじめ、国・県の行政担当者、建設コンサルタント、市民団体などが一堂に集い、まさに産学官が一体となって、応用生態工学や多自然川づくりとの関係、今後期待される役割への認識が共有されるとともに、人的交流の促進に寄与している。また、参加者にとって「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の維持」の意識が高まり、国や自治体の施策立案にもつながり、有益な取り組みとなっている。



神通川/有沢

常願寺川/クリーンセンター



開会挨拶

ワークショップ

講演

総合討論